

地域おこし協力隊の活動日誌

地域の新しい活力をめざして



5月から6月にかけての第4波の感染拡大時には、町内全域の多くの町民の方に本を届けるとともに、感染に注意しながらも交流することができました。

また、7月には小学校の体育の授業時にサッカー指導のため特別講師を務めました。本格的

地域おこし協力隊員の活動をお伝えするこのコーナー。今回は、今年度上半期において、サッカーチームに所属しながら地域課題に挑戦している隊員について紹介します。

① 町民の皆さんとの交流事業（図書の配送や授業支援）

昨年度から深刻になった新型コロナウイルス感染症感染拡大による公共施設の閉鎖時に、新富町図書館の依頼を受けて、図書の自宅配送を行いました。第5波の際は図書館が閉館しなかったため、配送業務は実施しませんでした。5月

なサッカーの技術を実地で講習することができ、子どもたちは授業を楽しんでくれました。後日、町中で会った際には気軽に声をかけてくれる関係性もでき、交流が深まっていることを実感しています。

② 農業研修

地域の農家のみなさんをお願いして、農業のことを知りたい隊員が中心となって農業研修を行わせていただいています。芋の作付けやピーマンの収穫、そばの種まきなど、新富町ならではの農業研修をさせていただき、今後、就農や農産物を使った仕事などを行った場合の勉強をしています。



④ 広報事業

広報班は、ヴィアマテラス宮崎の試合のことや、日頃の地域活動の様子を町民の皆さまに伝える活動を行っており、毎月「いっちゃん」を作成して配布しています。



③ 施設管理事業

施設管理事業は、町の中で使われていない公共施設の草刈りや清掃活動を行い、今後の利活用に向けた準備を行っています。10月からは旧富養園跡地の草刈りや、旧富田小学校追分分校の清掃を行う予定で、今後活用に向けてそれぞれ準備していきます。



また8月からは新田原基地の皆さんと連携して、基地内の食堂や談話室に町のイベントやお店の情報 の掲示コーナーを作りました。10月からは町の宣伝用YouTubeチャンネルも作成することになっています。

（文責・総合政策課有馬）

